

J A秋田ふるさと生産コスト低減への取り組み

1. 取組方針

生産者の農業所得最大化に向け、水稻軽量一発型肥料の普及拡大、大型規格農薬の提案や直行配送の提案に取り組んでおります。

2. 具体的実施事項

(1) 肥料の品目集約（水稻基肥）

H27年度より品目集約し、現在16品目。また独自の低コスト肥料の推進

(2) 軽量一発型肥料

H27年度より普及推進し、年々増加してきている。

平成30年度取扱数量6万袋（作付面積の15%）今年度目標7万袋

10a 当たりコスト	従来品一発型肥料	9,215 円
	軽量一発型肥料	5,540 円
	コスト低減額	3,675 円

(3) 直行配送によるコスト削減

平成28年より法人を対象にメーカーより直送

平成28年度1組織→平成31年度3組織

(4) 農薬の大型規格農薬の普及拡大

H30年度9千袋→H31年度目標10千袋

①育苗箱処理剤

従来の1キロ剤、3キロ剤→10キロ剤、40キロ剤

②一発型除草剤のコスト低減

従来の1キロ剤→2.5キロ剤、10キロ剤、40キロ剤

※ コスト低減に向けた推進は担い手FASTと営農経済部の作物専任指導員が中心となって行ってきました。

今後はICT・IoT活用による農業生産の省力化技術の提案、研修会や情報交換会を活用し、経営改善に向けた指導購買体制を構築し、さらにコスト低減に努め農家の所得増大に努めていきます。